思考と試行は新しい局面へ。

▼７月７日（水）５・６校時

２年次一般コース「課題研究」：一次検証まとめ・グループ作り／二次検証方法立案

▽先週の２年次探究コースに続いて、今週は一般コースでもグループ作りを行いました。

▽個人研究テーマを大まかに分類したのが右の表です。４クラス 160 名弱を、６教室に約 25 名ずつ振り分けて実施しました。

▽一次検証まとめとグループ作りについては探究コースの際とほぼ同じように進めました。詳しくは Vol.07 をご覧ください。

▽探究コースと異なるのは、分野やテーマの幅が広いことです[注 1]。一次検証リストを見て自分の研究に関連ある研究を探し、場合によっては他の教室にいる人ともグループを組みます。なお、ソロ研究（個人研究）も認めています。

分野（一次検証段階）	人数	場所
A 人文	56	第２学習室 ２年１組教室
B 経済	12	２年４組教室
C 教育・スポーツ	48	２年２組教室 ２年３組教室
D 理・工	14	２年４組教室
E 医療・農・栄養・福祉	27	２年５組教室

⇩

二次検証から、グループ研究・ソロ研究へ

▽グループテーマと仮説、そして二次検証方法立案にも進みました。今回、先生方からの質問や助言は定義に関するものを中心にしました。「〇〇とは何？」「満足とはどういう状態？」「どういう状況を影響がある、とするの？　それは測定できる？」のように問いかけられることで、漠然としていたテーマや仮説がしだいに絞り込まれていきます。

[注 1] ２年次探究コースは地域がテーマです。ただし、一般コースと同様の「課題研究」も２年次１月～3 年次７月にかけて行います。

▼７月７日（火）５・６校時＆７月８日（水）６校時

２年次探究コース「地域理解発展研究」：一次検証まとめ・グループ作り②／二次検証方法立案

▽まず前回個人で行った一次検証まとめを、改めてグループで行いました。ソロ研究の生徒も互いに集まって同じように取り組みました。ソロ研究は、グループに比べて《ほかの人の目》[注 2]が少なくなりますので、自分の考えを振り返る機会を意識的に設けています。

▽また、二次検証方法立案に向けて、データの扱いについても学びました。統計学のテキストの「問題の明確化」の文章を読み、右枠のような演習問題にも取り組みました。

ある市で，近くに行われる市長選挙についての調査を，金曜日の夕方６時から８時に中心市街地を通りかかった 20 歳以上の男女を対象に行った。この市の有権者を母集団と考えるとき，どのような偏りがあるだろうか。

『改訂版　日本統計学会公式認定
統計検定３級対応　データの分析』より引用

[注 2]株式会社クリエイティブシフト「探究パターン・カード」より。

▲▽▲